

1 ch FFT でスケジュールを使う手順書

Ver.1

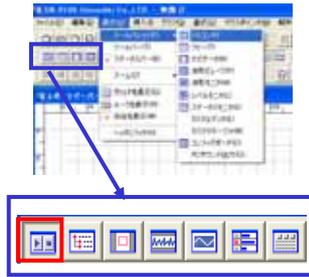
本手順書の内容

1. Repolyzer(XN-8100)の起動
2. ORFファイルの選択
3. コンフィグボード(解析条件)の設定
 1. 校正
 2. 周波数レンジ設定
 3. 周波数分解能(ライン数)の設定
 4. 定時間スケジュール
4. グラフ表示
5. ツールパレット表示
 1. 波形ビューア(オプション XN-0850)
 2. ステータスマニタ
6. 計測
7. プロジェクトの保存

1. Repolyzer(XN-8100)の起動及びリモコンパレット表示



デスクトップ上の左のアイコンをダブルクリックして、Repolyzer (XN-8100)を起動してください。



リモコンパレットツールボタン

リモコンパレット(下図)の表示

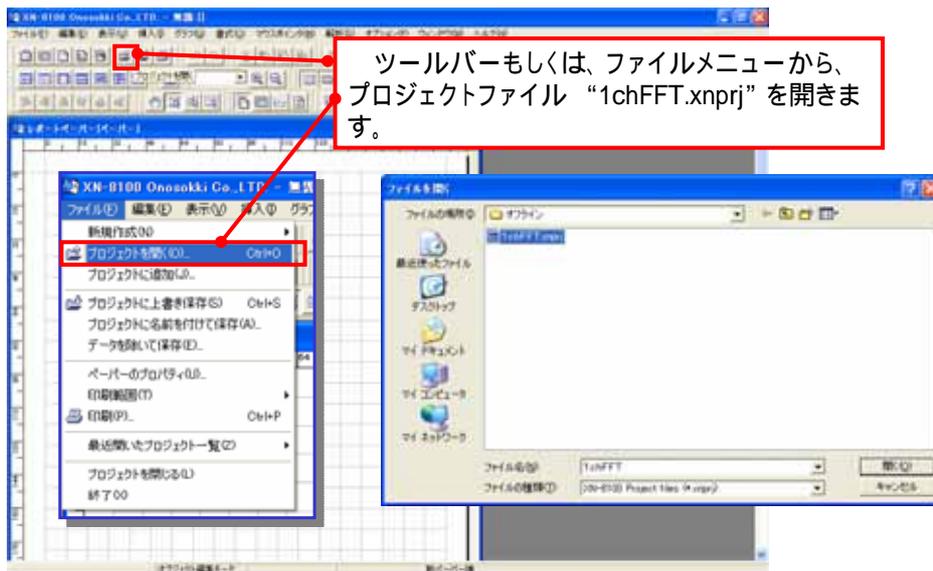
左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。



リモコンパレット



2. 1chプロジェクトを開く



ツールバーもしくは、ファイルメニューから、プロジェクトファイル “1chFFT.xnprj” を開きます。



2.1chプロジェクトを開く : プロジェクトの確認

このような画面になったでしょうか?

Repolyzer

2.1chプロジェクトを開く : ORFファイルの選択

リモコンパレット

リモコンパレットの FileReadボタンを押す

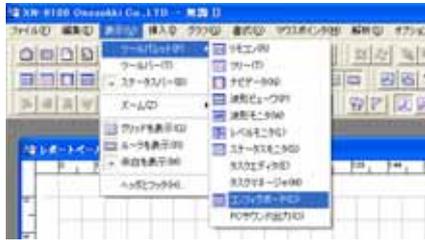
FileReadボタンの右側の細ボタンを押して、ファイル選択ダイアログを開く

“デモ信号.ORF”を選択する。

注: “Repolyzerサンプルデータ”フォルダは、RepolyzerインストールCDから、Repolyzerをお使いになるPCにコピーしておいて下さい。

Repolyzer

3. コンフィグボード(解析条件)の設定



コンフィグボードとチャンネルパレット
(下図)の表示

左図のメニューまたは、ツールボタ
ンで、表示できます。



コンフィグボードツールボタン



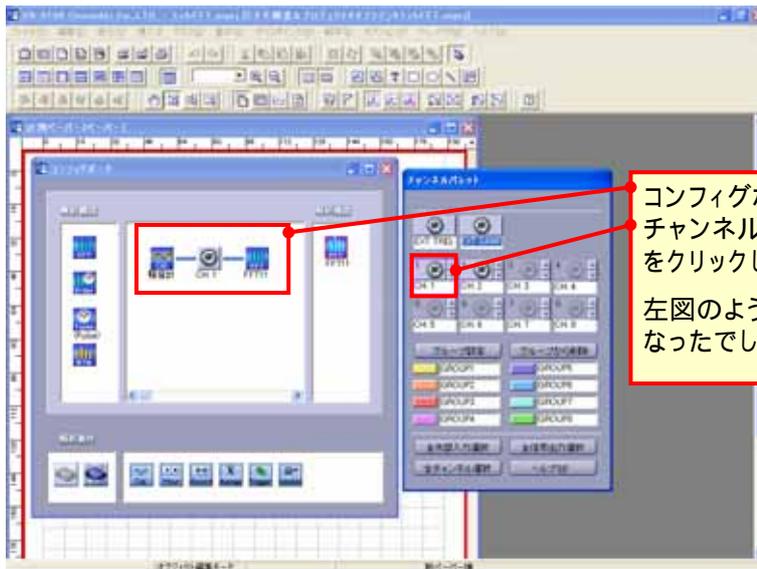
コンフィグボード



チャンネルパレット



3. コンフィグボード(解析条件)の設定 : 設定の確認



コンフィグボードを開いて、
チャンネルパレットの“CH.1”
をクリックしてください。
左図のようなツリー表示に
なったでしょうか？



3. コンフィグボード(解析条件)の設定 : 定時間スケジュール

Scheduleボタンをクリックします。設定ダイアログが開きます。

定時間スケジュールを選択します。計測時間を“5s”にします。保存間隔を“500ms”(0.5s)にします。

OKボタンをクリックしてください。

9

4. グラフ表示

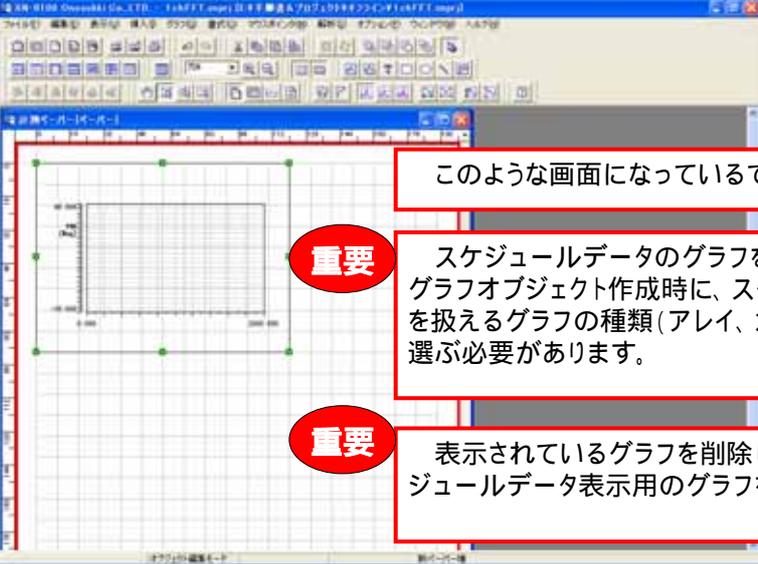
グラフの表示は、レポートペーパーに、グラフオブジェクトを配置する事で実現します。左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。

また、グラフ以外の四角や、画像もオブジェクトとして、レポートペーパーに配置できます。

オブジェクト挿入ツールボタン
(左から、グラフ、ファイルデータ、テキスト、四角、円、線分、画像)

10

4. グラフ表示 : プロジェクト“1chFFT”のグラフの削除



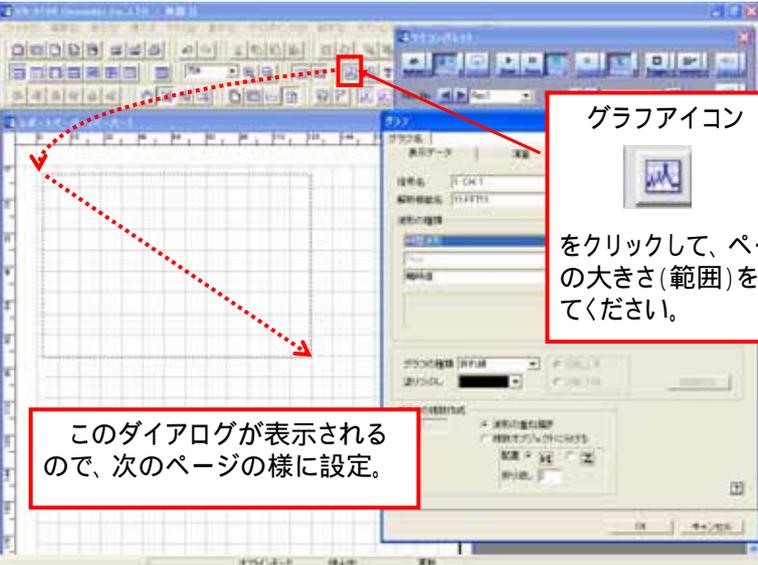
このような画面になっているでしょうか？

重要 スケジュールデータのグラフを表示するには、グラフオブジェクト作成時に、スケジュールデータを扱えるグラフの種類(アレイ、カラー、トレンド)を選ぶ必要があります。

重要 表示されているグラフを削除して、新規にスケジュールデータ表示用のグラフを作成します。



4. グラフ表示 : スケジュールデータを表示するグラフの作成



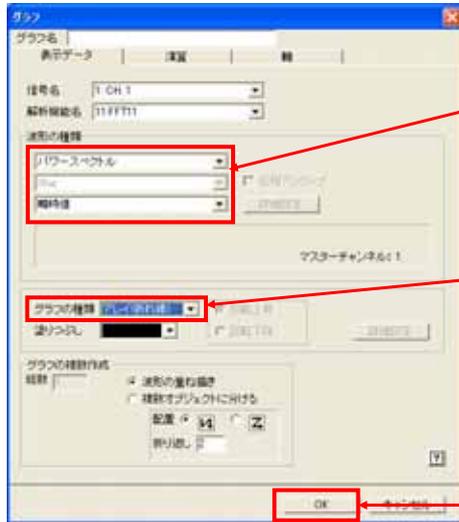
グラフアイコン

をクリックして、ペーパー上でグラフの大きさ(範囲)をドラッグで指定してください。

このダイアログが表示されるので、次のページの様に設定。



4. グラフ表示



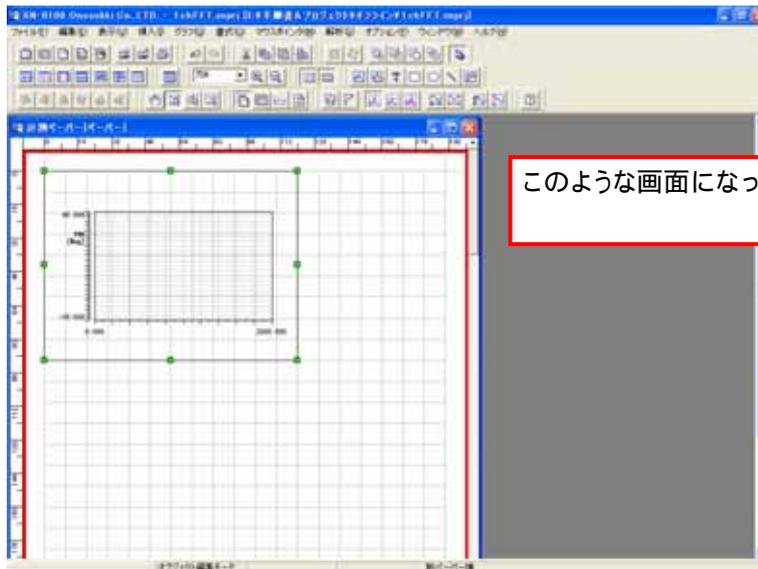
波形の種類は、**パワースペクトル**
瞬時値
を選択します。

グラフの種類は、**アレイ (折れ線)**
とします。

OKボタンをクリックします。



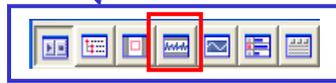
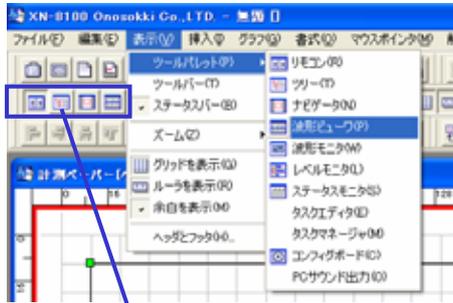
4. グラフ表示



このような画面になったでしょうか？



5. ツールパレット表示 : 波形ビューウ

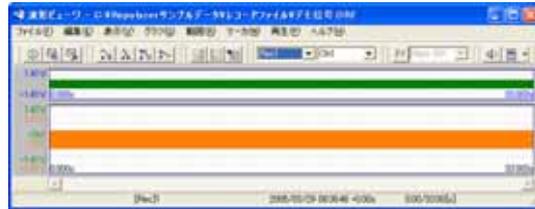


波形ビューウツールボタン

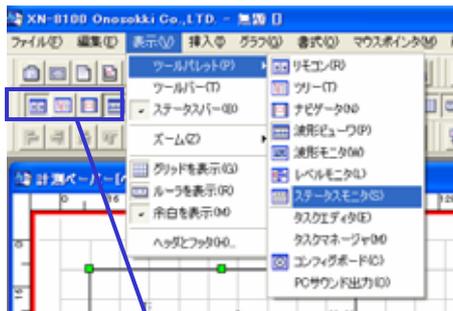
波形ビューウ(下図)の表示

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。

波形ビューウ(XN-0850 オプション)



5. ツールパレット表示 : ステータスマニタ



ステータスマニタツールボタン

ステータスマニタ(下図)の表示

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。

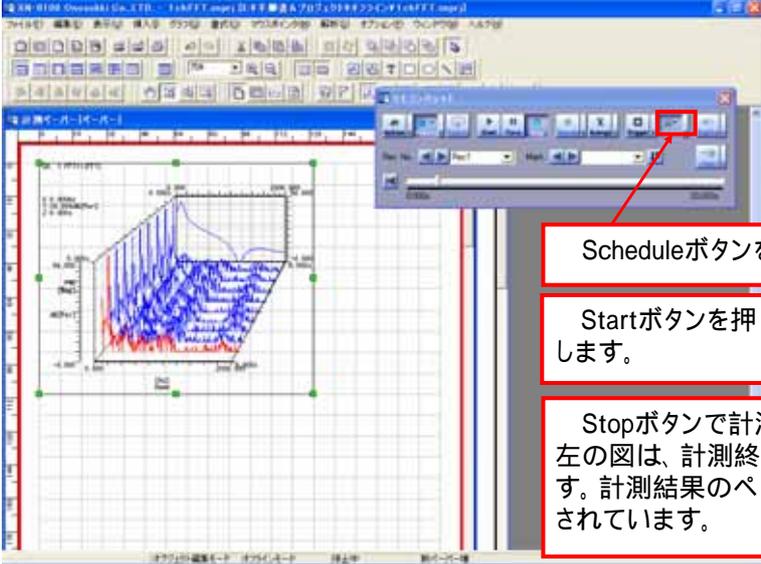


ステータスマニタ

* スケジュールの経過状況は、ステータスマニタで確認ができます。



6. 計測



Scheduleボタンを押します。

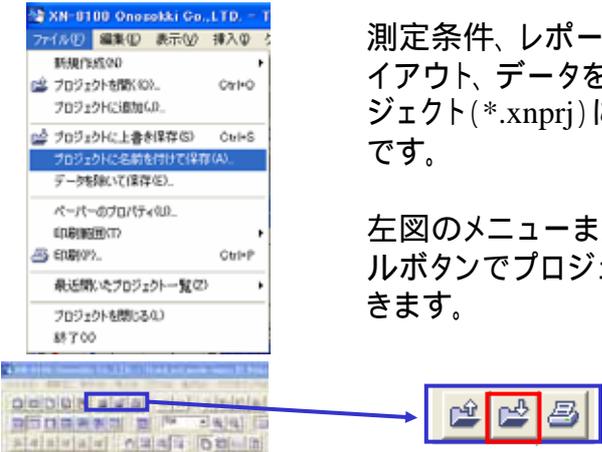
Startボタンを押して計測を開始します。

Stopボタンで計測を終了します。左の図は、計測終了後の画面です。計測結果のペーパーが追加されています。

Repolyzer

17

7. プロジェクトへの保存



測定条件、レポートペーレイアウト、データを一括してプロジェクト(*.xnprj)に保存が可能です。

左図のメニューまたは、下図ツールボタンでプロジェクトの保存できます。

**プロジェクト保存
ツールボタン**

Repolyzer

18